

乙女玉ろく士

2

3

4

5

6

7

8

9

70

1



九曜堂

し女

はまをいふいと初めありと
名とせり源氏十の四月
より元亨十月十をそよん
とてはし女とらふ事あり

みまのきりぬきむせうとら
むしはさるうられとんま
あしぬらんしあふ時玄
のちに天女たすうとあ
とせりこのあしは合

せうひの袖を又ひひき
之をいふれをさうりト
毎年十一月にすひの娘
人出してまらせらぬ
あり源氏の清りこしよ

きんよの

乙女子

神志

あきつ

まじり

けまきりあどゆりくまき
まのさ桑院成共たれ二月
よりたはしこまそこのまき
まうこまらたうゆり上

のほひこはたれ時たらし
くらりたにの年あまき
めふたうやれ上に合せあ
とまのまよまふらんやう
けあふたうやれあしつらひ

の右近とらふ人よちりあひあひ
右を源氏介とてむくまひ
ぬ後示さげざられぬのうこ
ふちりくむろくは月結
とよかきとほろこよ

春とて心
身へそくちあひく
むろくいんあひら
る

